

市報

おおいた

4.8.15

No.1107

編集と発行

大分市荷揚町2番31号

大分市秘書広聴室広聴広報課

(☎34-6111)



ブルーバル



「わっしょい、わっしょい」。暑さを吹きとばすような元気なかけ声でみこしを担ぐのは、政所子供会のちびつ子たち。

地域の伝統文化にふれてもらい、子供のころの思い出になればと昭和57年に始まり、今年で11年目。夏休みのこの時期は、天神様での太鼓の練習も加わり、まつり気分も一段と高まる。最近では女の子の方が熱心で、男の子は少々押されぎみだとか。

「中学生になつても後輩の指導に来てくれますし、素直にのびのびと育っているのがいいですね」と世話役の宮田アサミさん。

夏の天神様のおまつりと秋のふるさとまつりに向け、小さなみこしが大きく弾む。子供たちの夏はまだまだこれから。

大分市

歌 [作詩 竹森 カヨ 作曲 中山悌一]

1. 豊の海に 陽はのぼり
神宮寺浦 波静か
宗麟この地に
文化を開き
ふれあいの 心豊かに
育ちゆく大分 大分
われらの大分

2. 豊の山に 緑映え
荷揚の城に 風かおる
新産県都の
力はあふれ
青春の 夢は明るく
ひらけゆく 大分 大分
われらの大分

3. 豊の国に水光り
人の心に のぞみわく
はるけき屋並みに
鳩は舞い舞う
50万 共にむつみて
進みゆく大分 大分
われらの大分

—この歌は歴史のあるまち大分と躍進する大分を表しています。—

